

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

児童、生徒及び幼児の発育状態及び健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

## 2. 調査の根拠

統計法（昭和22年法律第18号）及び学校保健統計調査規則（昭和27年文部省令第5号）による。

## 3. 調査の範囲・対象

### (1) 調査の範囲

調査の範囲は、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び幼稚園のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）とした。

### (2) 調査の対象

調査の対象は、調査実施校に在籍する満5歳から17歳（平成14年4月1日現在）までの児童、生徒及び幼児の一部である。

### (3) 対象校

|        |     |     |        |         |     |        |
|--------|-----|-----|--------|---------|-----|--------|
| ① 発育状態 | 幼稚園 | 35園 | 1,540人 | 小学校     | 60校 | 5,760人 |
|        | 中学校 | 40校 | 4,800人 | 高等学校（男） | 30校 | 1,350人 |
|        |     |     |        | 高等学校（女） | 30校 | 1,350人 |
| ② 健康状態 | 幼稚園 | 35園 | 70学級   | 小学校     | 60校 | 360学級  |
|        | 中学校 | 40校 | 240学級  | 高等学校（男） | 30校 | 90学級   |
|        |     |     |        | 高等学校（女） | 30校 | 90学級   |

※中学校には中等教育学校の前期課程を、高等学校には中等教育学校の後期課程をそれぞれ含む。（以下同じ。）

## 4. 調査事項

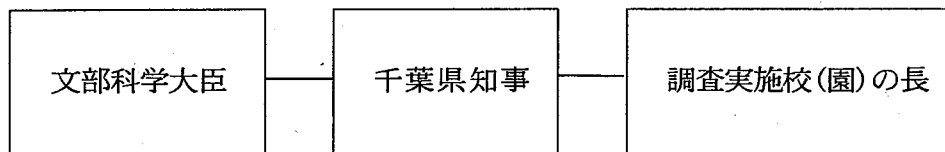
(1) 児童、生徒及び幼児の発育状態（身長、体重及び座高）

(2) 児童、生徒及び幼児の健康状態（栄養状態、脊柱・胸郭の疾病・異常の有無、裸眼視力、色覚、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無及びツベルクリン反応検査）

## 5. 調査の時期

調査は、学校保健法による健康診断の結果に基づき、平成14年4月1日から6月30日の間に実施した。

## 6. 調査系統



## 7. 利用上の注意

(1) 統計表の符号の用法は、次のとおりである。

「－」―― 該当者がいない場合

「0.00」―― 計数が単位未満の場合

「…」―― 調査対象とならなかった場合

(2) 平均値は、小数第2位を四捨五入した。

また、比率算出については、小数第3位を四捨五入した。

(3) 千葉県の「健康状態調査結果」についてはサンプル数が少ないため、参考値とされたい。

(4) この結果報告書の数値は、後日文部科学大臣が公表する数値をもって確定値となる。